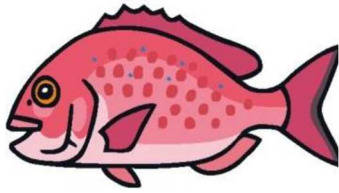


# マダイ



- ・ 海底が起伏に富んだ岩盤または砂礫質の水域に生息し、銚子～富津の沿岸で小型機船底びき網、刺網、定置網、釣りなどにより漁獲される。
- ・ 1歳で尾叉長16cm、2歳で24cmに成長し、4歳で37cmとなつて体重は1kgを上回り、6歳で2kgを超える。
- ・ 産卵期は3～6月。
- ・ 1982年から種苗放流を実施。

## 資源評価

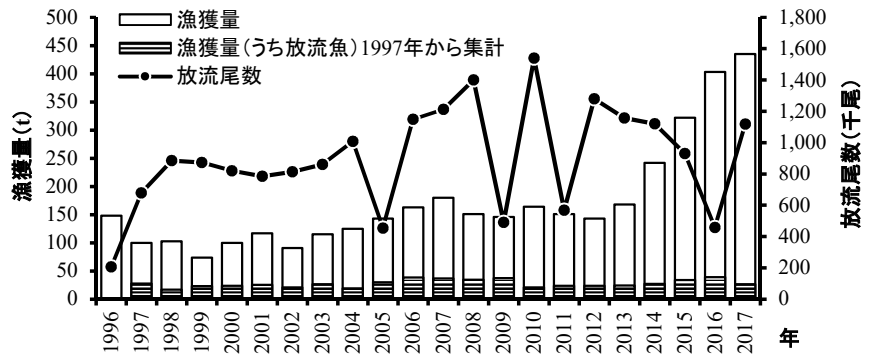
水準：高位



動向：増加



## 漁獲量



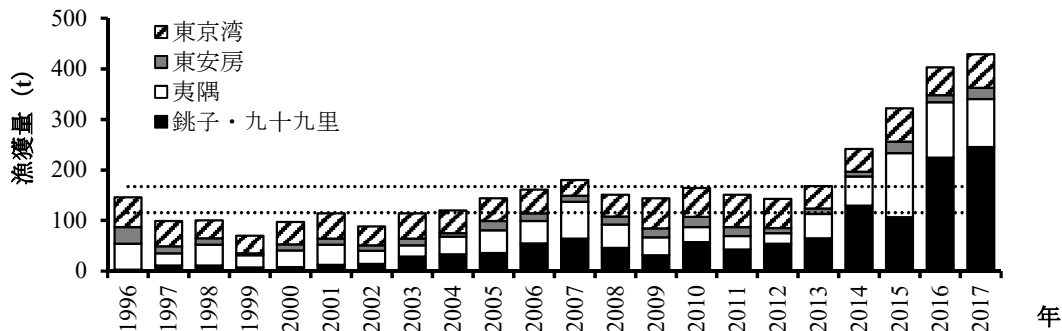
千葉県におけるマダイ漁獲量（千葉農林水産統計年報）と放流尾数の経年変化

1999年に74tまで減少したが、それ以降は増加に転じ、2008年以降は150t前後で推移した。2013年以降増加傾向にあり、2017年は過去最大の435tが漁獲された。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値（漁獲量）から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、漁獲量の推移から判断した。
  - ・ 2018年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は増加傾向となった。
- ※2015年以降、銚子・九十九里及び夷隅海域で漁獲が急増しており、近年の資源水準及び動向に影響を与えているものと考えられる。



マダイの海域別漁獲量の経年変化

## 資源管理の取り組み

- ・ 小型魚（全長20cm以下）の再放流、県も一体となって実施している種苗放流など漁業者による自主的な資源管理が行われている。